

天草キリシタン館 城山公園と 周辺案内図

天草キリシタン館が位置する城山公園は、戦国時代天草氏の居城であった本渡城跡である。1587年（天正15）の豊臣秀吉による九州平定後、肥後は加藤清正と小西行長の支配となったが、1589年（天正17）の天草の国衆が起こした天草合戦において、小西・加藤の連合軍に攻略され本渡城は落城した。現在、城山公園として整備され、周辺には島原・天草一揆に関する史跡や文化遺産が点在している。

① 殉教戦 千人塚



城山公園の中にある慰霊塚。島原・天草一揆戦没者（幕府・一揆勢）を祀ったもので、数ヶ所に散在していた千人塚を移転・合祀し、昭和31年5月に完成。
キリシタン館より徒歩3分。

③ 木山弾正の墓 (天草市指定文化財)



木山弾正は肥後益城の赤井城主であったが、その没落後、外戚の天草伊豆守種元を頼って本

② キリシタン墓地



昭和30年代、城山公園一帯の整備の中で造営され、五和町に点在していた墓石を移転したもの。墓地を見守るようにルイス・デ・アルメイダ像やキリスト平和像も建立されている。
キリシタン館より徒歩1分。

渡城に客将として身を寄せた。1589年秋、小西行長・加藤清正の連合軍が志岐城を攻めたとき、弾正は志岐城救援に赴き、仏木坂において、清正と一騎打ちをして討たれた。墓は後世子孫により造立されたもので、キリシタン館近くの丘陵上にある。
キリシタン館より徒歩5分。



④ 明徳寺山門 (天草市指定文化財)



向陽山明徳寺は曹洞宗の寺院で、1645（正保2）年、天草代官鈴木重成によって創建された。山門は1717（享保2）年に建てられたもので、入口にはキリスト教を廃絶し、仏教によって人心の安定を図ることが記されている。
キリシタン館より徒歩3分。

⑤ 兜梅 (熊本県指定文化財)



延慶寺の境内にある樹高3m、枝張りは東西11m、南北6mの梅の木。1589年の天正天草合戦の本渡城戦の際、奮戦むなしく敗れた木山弾正の妻、お京の方にまつわる伝説が伝えられている。
キリシタン館より車で3分、徒歩10分。

⑥ 旧天草教育会館 (国登録有形文化財)



1935（昭和10）年、教育者の育成のために建造された2階建ての洋風建物。外観・内装に昭和初期の洋風建築の意匠が残る。現在は、天草文化交流館として工芸品の製作体験の場となっている。
キリシタン館より車で5分、徒歩15分。

⑦ 祇園橋 (国指定重要文化財)



1832（天保3）年に架橋した。天草産石材である下浦石（砂岩）を用いた多脚式アーチ型石橋。橋がある町山口川の周辺は、1637（寛永14）年、島原・天草一揆で激戦地となった場所の一つである。
キリシタン館より車で5分、徒歩17分。